

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学科・系・領域などから成る教育研究組織の実効性を検証し、必要な改善を行う	→学科・系・領域などから成る教育研究組織の実効性の検証(毎年)と必要な改善の実施	B	B	B		
2. 研究成果の社会への還元を目的とした社会学部研究会、学術講演会および学術シンポジウムを定期的に開催する	→社会学部研究会、学術講演会および学術シンポジウムの実施回数	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	3系7領域カリキュラムに対応した教育研究組織(各領域担当者会議およびカリキュラム検討委員会)によって、責任ある教育体制を整えている。教育研究組織の検証および改善については、「09年度社会学部再編」フォローアップ委員会を10月および12月に開催し、2月16日の教授会において、報告と懇談を行った。それに基づいて、4月には、社会学部将来構想委員会を発足させ、検証および改善策作成を行っている。
★ 目標2	研究成果の社会への還元を目的として、社会学部研究会を4回(5月、6月、10月、11月)開催した。
備考	